

# オープニング・セミナーにおける導入・転換教育の試み

高橋 哲徳\*・高橋 史朗\*・川守田 礼子\*

## On Opening Seminar : A New Introductory Liberal Arts Education by Center for Liberal Arts and Technology of Hachinohe Institute of Technology

Tetsunori TAKAHASHI, Fumiaki TAKAHASHI and Reiko KAWAMORITA

### Abstract

Based on tentative implementation in 2000, Center for Liberal Arts and Technology of Hachinohe Institute of Technology started a new introductory liberal arts education, Opening Seminar, for the purpose of the improvement of reading, writing and information gathering skills of our freshmen in 2001. In this brief paper, we will explain the system and content of the education.

**Key words** : introductory education, liberal arts education

### はじめに

21世紀を迎え、社会全体が大きな転換を迫られている中、高等教育機関もそれに応じた変革を求められている。とりわけ、大学における教養教育の再構築は、入学生の学習履歴や学習動機等の多様化に伴い、一層重要性を増している。大学審議会は、平成10年10月26日の答申において、「学問のすそ野を広げ、様々な角度から物事を見ることができる能力や、自主的・総合的に考え、的確に判断する能力、豊かな人間性を養い、自分の知識や人生を社会との関係で位置付けることのできる人材を育てる」という教養教育の理念・目標を実現するために、以下の点を具体的な取り組みの指針として挙げている。

教養教育の内容については、例えば、i) 社会生活を送る上で身に付けておくべき基本的な知識と技能を習得させる、ii) 社会的・学問

的に重要な特定の主題や現代社会が直面する基本的な諸課題について授業（テーマ講義やゼミナールなど）を行い、多面的な理解と総合的な洞察力や現代社会の諸課題を総合的に判断し対処する能力を養成する、iii) 体系化された学問を幅広く経験することにより、専攻する学問分野の理解を助けるとともに、専攻する学問分野の違いを越えて共通に必要な複合的視点や豊かな人間性をかん養する、iv) 専門教育において、関連する分野に関する幅広い視野に立って学際的に取り組むことのできる力を培うなどが考えられる<sup>1</sup>。

この一節は、専門教育と教養教育との有機的な連携を前提としながら、教養教育体制の充実が今後の大学教育の主軸の一つであることを示している。工業系の単科大学である八戸工業大学（以下本学）においても、大学における基本的な学習基盤の形成とともに、自主的、かつ、総合的な思考力の養成を、教養教育の枠組みの中で実践していくことが、従来にもまして必要と

平成13年12月21日受理  
\* 総合教育センター・講師